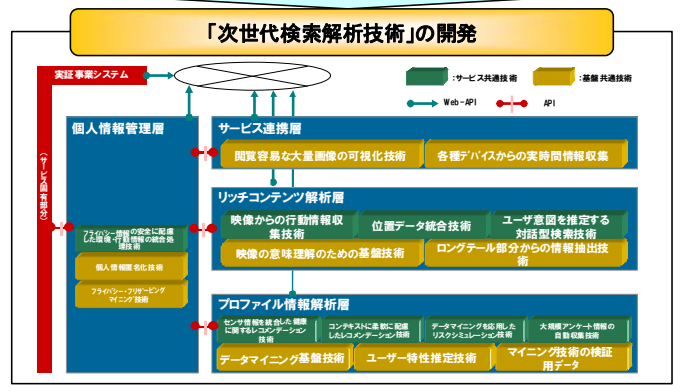


施策名: 情報大航海プロジェクト【経済産業省】

連携施策群(情報の巨大集積化)施策

平成21年度対象予算案: 2,598百万円  
 (平成20年度対象予算: 4,108百万円)  
 実施期間: 平成19~21年度  
 (予算総額: 11,277百万円)

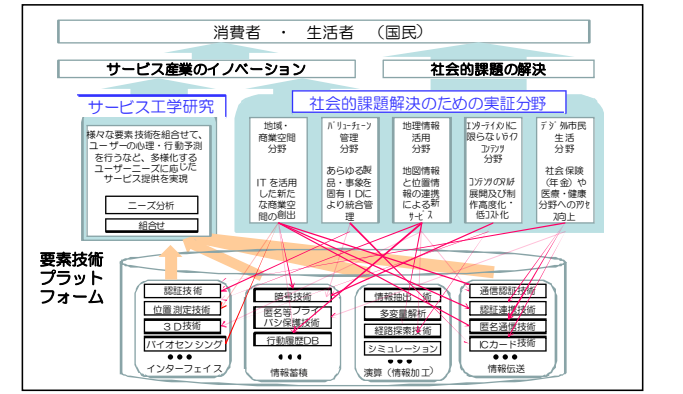
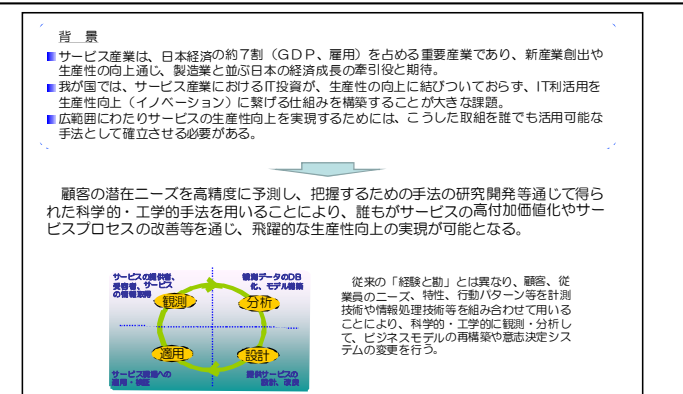
○多種多様な大量の情報の中から必要な情報を的確に検索・解析する技術(「次世代検索解析技術」)を開発した上で、汎用化してオープンに利用できるような共通基盤を構築する。  
 ○技術の開発に当たっては、その技術を用いた実証事業を同時に行うことにより、技術の有用性・信頼性を検証するとともに、制度的課題を洗い出し、技術の市場展開に必要な環境整備を行う。



施策名: ITとサービスの融合による新市場創出促進事業【経済産業省】

平成21年度対象予算案: 1,500百万円  
 (平成21年度新規)  
 実施期間: 平成21~24年度  
 (予算総額: 6,000百万円)

○生産性が高いサービス事業を実現するための要件を抽出し、情報蓄積・解析等の要素技術群(「要素技術プラットフォーム」)の中から必要な技術を的確に組み合わせる手法であるサービス工学の研究開発を行う。  
 ○公的・社会的な分野において、ユーザー起点・人間起点・生活起点の新たなサービス提供の実証を行い、その成果は要素技術プラットフォームにオープンな形でフィードバックする。



# 戦略重点科学技術(10)

## 世界一安全・安心な IT社会を実現する セキュリティ技術

戦略重点科学技術(10) 世界一安全・安心な IT社会を実現するセキュリティ技術

施策名： 情報漏えい対策技術の研究開発 【総務省】

平成21年度対象予算案：902百万円  
(平成20年度対象予算：1,100百万円)  
実施期間：平成19～21年度  
(予算総額：4,800百万円)

○近年、自動転送型ファイル共有ソフトを通じた情報流出や、組織における職員等による重要情報の持ち出し等が引き起こす情報漏えいの被害が社会問題として顕在化している。  
○このため、情報の無断持ち出しや不正流用などに起因する情報漏えいを予防する技術、情報流出が発生した場合の被害を最小限に抑える技術を開発する。

